

1. 件名：安全実績指標に関する日本原子力研究開発機構との面談
2. 日時：令和2年7月21日（火） 13：30～14：30
3. 場所：原子力規制庁 2階中コア会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者：
原子力規制庁 原子力規制部
核燃料施設等監視部門
熊谷統括監視指導官、栗崎企画調査官、伊藤企画調査官、福吉主任監視指導官、
関主任監視指導官
検査評価室 笠川室長補佐
日本原子力研究開発機構 安全・核セキュリティ統括部 部長 他13名
5. 要旨
 - (1) 日本原子力研究開発機構（以下、JAEAという。）から、配布資料（1）を用いて、原子力規制検査等に関する規則に基づく安全実績指標（放射線安全）における具体的な報告内容の検討案の説明を受けた。
 - (2) 原子力規制庁から、放射性廃棄物（気体・液体）の具体的な放出濃度は、既に放射線管理報告書で別途報告を受けていることから、安全実績指標（放射線安全）においては、保安規定に規定されている放出管理目標値を超えた場合（当該目標値の規定が無い場合は法令濃度限度を超えた場合）を過剰放出として位置付け、その件数を報告することで十分である旨伝えた。
 - (3) JAEAから、上記（2）について検討する旨、回答を受けた。
 - (4) 原子力規制庁から、変更案がまとまった段階で再度面談を行いたい旨、伝えた。
6. 配布資料
 - (1) 原子力規制検査において活用する安全実績指標（PI）について（JAEA作成）